

日本・カナダ国際親善試合

大会名	日本・カナダ国際親善試合	日付	2016/6/26
場所	川崎重工ホッケースタジアム（各務原市）	天候	晴れ
試合	第3戦	通算結果	日本3勝

Country	RESULT				Country
日本 JAPAN	5	1P	0	-	0
		2P	2	-	0
		3P	1	-	1
		4P	2	-	0
				1	カナダ CANADA

Start	No.	Name	備考
✓	1	浅野 祥代	GK
✓	2	林 なぎさ	
✓	3	小野 真由美	
16	4	錦 織 えみ	
✓	5	柴田 あかね	
✓	6	阪口 真紀	
✓	7	中島 史恵	
✓	8	西村 綾加	
✓	10	中川 未由希	C
7	11	野村 香奈	
11	12	浅井 悠由	
✓	14	永井 友理	
✓	15	永井 葉月	
✓	17	三橋 亜記	
31	18	大家 涼子	
4	19	清水 美並	
5	20	真野 由佳梨	
3	21	河村 元美	
監督		永井 祐司	
UMPIRE		相馬 知恵子	

Start	No.	Name	備考
✓	1	WILLIAMS Kaitlyn	GK
✓	3	GILLIS Kate	C
5	5	WOODCROFT Nikki	
11	6	PEREIRA Shannon	
✓	9	HENNIG Danielle	
4	10	LEAHY Kathleen	
✓	12	CULLEY Thea	
5	13	HAUGHN Hannah	
✓	14	JOHANSEN Karli	
✓	15	RAYE Abigail	
✓	16	SOURISSEAU Natalie	
8	17	McMANUS Sara	
✓	18	DEARMOND Alexis	
✓	19	STEWART Holly	
✓	21	WOODCROFT Amanda	
✓	23	STAIRS Brienne	
4	26	NORLANDER Stephanie	
	31	HARRIS Rowan	GK
監督		RUTLEDGE Ian	
UMPIRE		我妻 順子	

Country	Min	Name	Action	Score
JPN	16	永井 葉月	PC	1-0
JPN	29	永井 友理	FG	2-0
JPN	32	西村 綾加	PC	3-0
CAN	41	STEWART Holly	FG	3-1
JPN	55	阪口 真紀	PC	4-1

Country	Min	Name	Action	Score
JPN	56	清水 美並	FG	5-1

女子日本代表「さくらJAPAN」はリオデジャネイロ・オリンピックに向けた強化試合2戦を立命館ホリズスタジアム（大阪府茨木市）にて2戦2勝で終え、本日より川崎重工ホッケースタジアム（岐阜県グリーンスタジアム）で2戦を行う。本日、第一戦が行われ、5-1でさくらJAPANが3勝目をあげた。

1st Period

日本のセンターパスにより前半戦が開始される。立ち上がりから相手に激しいプレスをかけ、積極的に相手コートに攻撃を仕掛ける。4分コート中央で相手のサイドチェンジのパスミスで柴田がタイミングよくカットレスビードのあるドリブルで三橋にラストパスを出す。パスが僅かに合わず最初のチャンスをものにすることが出来ない。日本はその後も高い位置でプレスをかけボールを奪いチャンスを作り出そうとするが最終局面で動きが硬く、パスが合わない。その流れに付け込まれる、日本はアウトレットコントロールのミスから6分PCを奪われる。これを浅野が確実に止めゴールを許さない。8分相手陣内でボールを奪い、清水、永井友理が立て続けにシュートをするがカナダGKのファインセーブに阻まれ追加点を奪うことが出来ない。

2nd Period

硬い動きも徐々にとれ、先制点を奪おうと立ち上がりから積極的にプレッシャーをかけながら試合を進める。17分右サイドのロングコーナーから、小野がサークル内にボールを打ち込む。相手のレシブミスを見逃さず、中島がサークル内左側で相手のこぼれ球を拾いPCを獲得する。最初の先制のチャンスを林からゴール中央の永井葉月に完璧に合わせ先制する。この勢いで追加点を挙げようとテンポの早いパス回しからFWへボールをつなぎ23分中島、25分永井（友）、27分河村と立て続けにシュートするがGKに止められる。32分、自陣のアウトレットから素早くボールを受けた三橋がスピードのあるドリブル突破からチャンスを作る。永井（友）がサークル内で三橋から受けたボールを細かく繋ぎ、清水がシュートしたボールがゴール方向にこぼれ、それをしっかりと永井（友）が押し込み2-0で前半戦が終了する。

3rd Period

カナダのセンターパスにより後半戦が開始される。立ち上がりに相手コートで奪ったボールを中島がセンタリング。このセンタリングに永井(友)がとび込み決まったかと思われたが枠を捉えることができない。32分、PCを獲得し、小野から西村へ合わせ3点目をあげる。なおも攻撃の手を緩めない日本は、追加点を奪おうと必死に相手陣地に攻め込むもののラストパスがあわない。少しづつカナダペースとなり、36分、サークル内へ侵入を許すと、そのままシュートされるがGK大家が落ち着いてクリアする。40分にもLCから素早いリスタートでサークルインされシュートを許す。41分、カウンターからライトサイドを崩される。そのまま止めることができずゴール前2対1からダイレクトシュートを決められ失点する。

4th Period

49分、相手コート深くに出たボールを三橋が拾うと、オーバーラップしてきた柴田へパス。そのまま柴田がドリブルでサークルインしシュートするがGKに止められる。このこぼれたリバウンドボールを河村がシュート。相手の反則となりPCを獲得する。このチャンスを確実に決めたい日本であったが、追加点を奪うことができない。日本は、さらに攻撃のテンポを早めサイドチェンジからチャンスを作り出そうと試みる。55分PCを獲得すると、林から阪口に合わせ4点目をあげる。56分、中盤から素早く錦織がリスタートし浅井へパスが渡る。このパスを受けた浅井が相手をひきつけアシストとなるパスを清水へ送り落ち着いて清水が5点目をあげ試合を決定つけた。トータル5-1で日本が3勝目をあげた。

日本	10	PC数	1	
	12	シュート数	4	カナダ